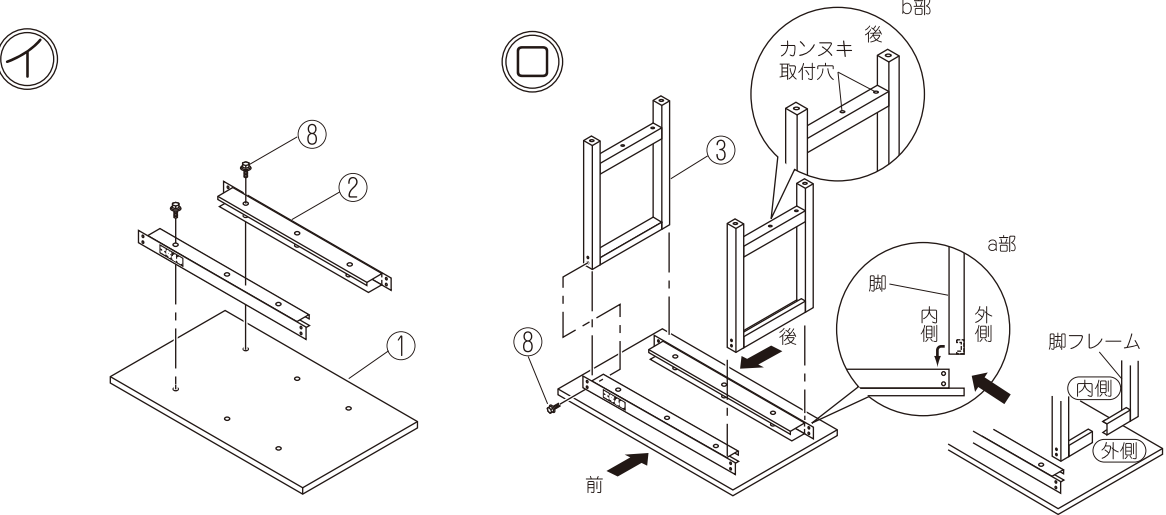
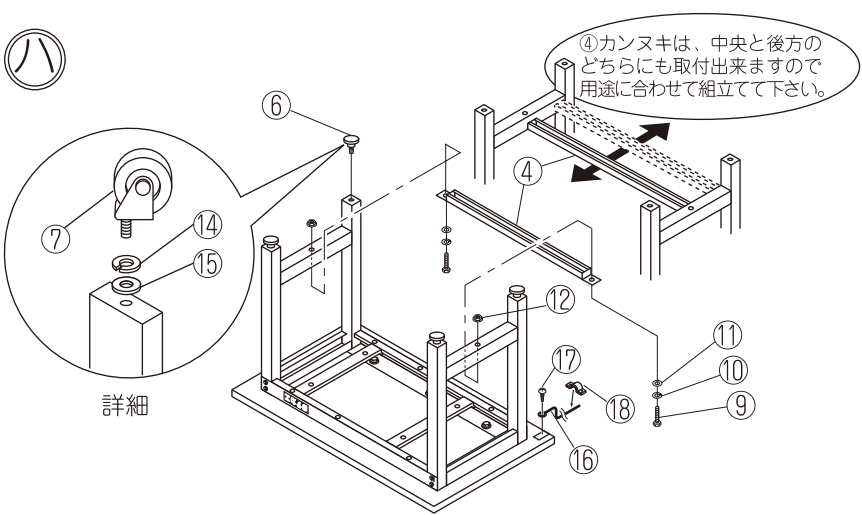


●組立て方法《全タイプ共通》



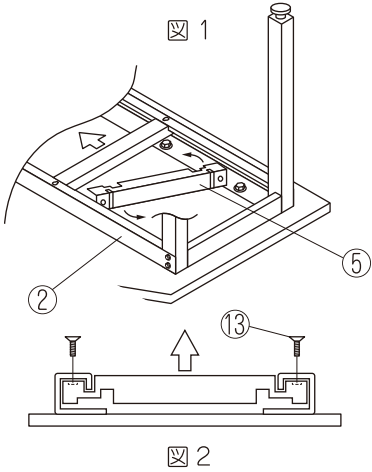
- ① 裏返した天板①の上に天受ビーム②を前後に置き、六角アブセットセムス⑧で仮止めして下さい。
(W900,1200では⑧は4個、W1500,1800タイプは6個使用します。)
- ② 脚フレーム③を逆さにし、図②の様に天受ビーム②の両端に差し込み、外側より六角アブセットセムス⑧8個で仮止めして下さい。
(脚フレームの向きに注意して下さい。a部の脚フレームの向きと、b部のカンヌキ取付穴の方向に合わせて取付けて下さい。向きを間違えますとカンヌキ④が取付けられなくなります。)



- ③ カンヌキ④を脚フレーム③に下から差し込み、六角ボルト⑨、スプリングワッシャ⑩平ワッシャ⑪セリート付フランジナット⑫で締め付けて下さい。その後、全てのボルト・ナットを外れない様に本締めして下さい。さらに、脚フレーム③の先端部にアジャスター⑥をねじ込んで下さい。移動式の場合は、詳細の様にスプリングワッシャ⑭、平ワッシャ⑮を入れてからキャスター⑦をねじ込んで下さい。(この場合アジャスター⑥は使用しません。)

《アース線の取付け方法》
(帯電防止マット張作業台のみ)
天板裏面のアース用アルミテープ面に、アース線⑩をトラスタッピンネジ⑬で固定し、ワイヤステッカー⑭でアース線を任意の位置で固定して下さい。

《補強フレームの取付け方法》
(W1800×D900タイプのみ)
本締めが終わりましたら、補強フレーム⑤を天板ビーム②の間に図1の様に穴のある面を横に向けて斜めにして入れます。次に天受ビームと垂直になる様に回転させます。それから補強フレームを起こしビス穴がある面が上にくる様にします。最後に補強フレームを天受ビームの中心付近の穴の位置まで移動させて、図2の様に補強フレームを持ち上げながら、十字穴付皿小ネジ⑬で止めて下さい。



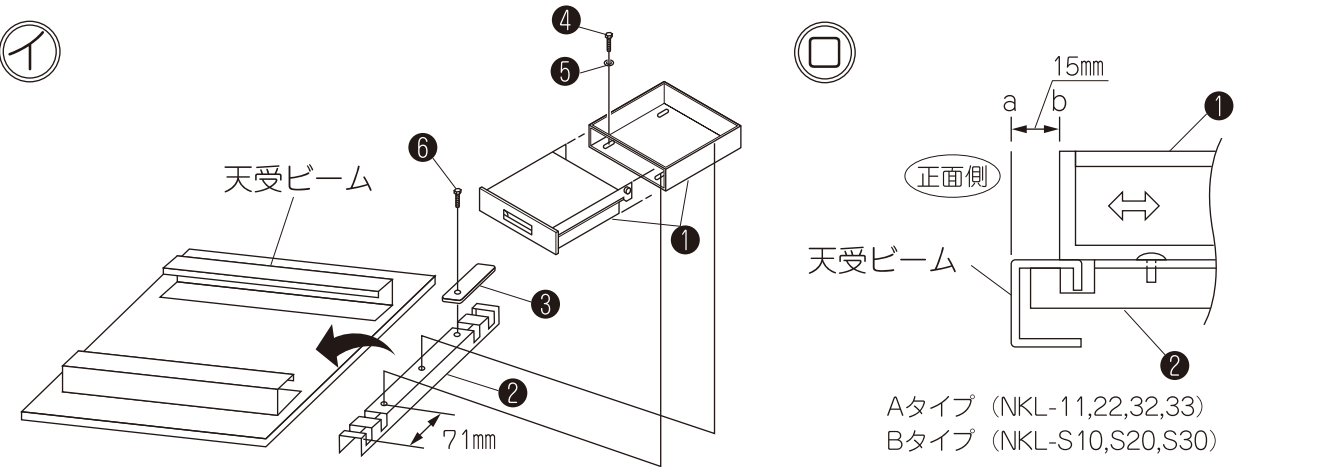
●部品明細

番 号	品 名	数 量
1	天板	1
2	天受ビーム	2
3	脚フレーム (高さ調整式はスライド脚組付済)	2
4	カンヌキ	1
5	補強フレーム (1800×900タイプのみ)	1
6	アジャスター ※1	4
7	キャスター (移動式のみ)	4
8	六角アブセットセムス (P-3) ※2 M8×18 ℓ	14
9	六角ボルト M8×65 ℓ	2
10	スプリングワッシャ M8用	2
11	平ワッシャ M8用	2
12	セリート付フランジナット M8	2
13	十字穴付皿小ネジ (1800×900タイプのみ) M8×18 ℓ	2
14	スプリングワッシャ (移動式のみ) M12用	4
15	平ワッシャ (移動式のみ) M12用	4
16	アース線 (帯電防止マット張作業台のみ)	1
17	トラスタッピンねじ (2種) 呼び4 長さ10mm (帯電防止マット張作業台のみ)	1
18	ワイヤステッカー (帯電防止マット張作業台のみ)	2

※1 キャスター付の場合は不要です。
※2 W900,1200の場合は2個余ります。

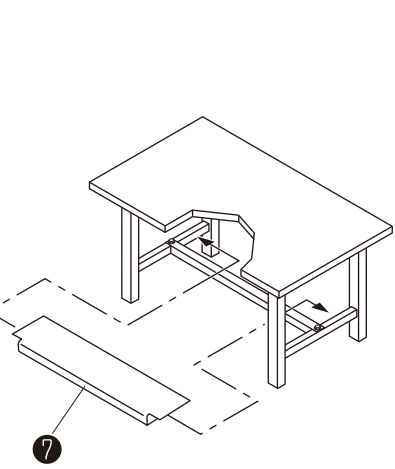
●オプション部材取付方法

●キャビネット
(本体を起こす前に取付けます。後付けの場合は本体を裏返して下さい。)



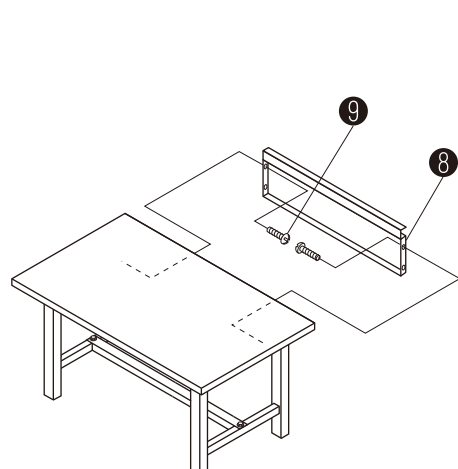
- ① 任意の位置にキャビネット吊金具②を図aの様にセットします。奥行750,900タイプは浮き上がり防止のためにキャビネット吊金具の後方に止め金具③、トラス小ネジ⑥で本体とキャビネット吊金具を固定して下さい。さらにキャビネット①の引出しを抜き、キャビネット本体を裏返してキャビネット吊金具の上に置き、六角ボルト④、平ワッシャ⑤で仮止めします。
- ② 取付けるキャビネットがAのタイプである場合、本体を図b中のa地点に本体の前面が来るように合わせます。またBにタイプキャビネットの場合はb地点に本体の前面が来るように合わせます。そしてキャビネットが動かないよう本締めして下さい。

●中板



全てを取り付けたら本体を起こします。そして中板⑦をはめ込んで下さい。

●背板



背板⑧を天受ビーム②に引っかけて、トラス小ネジ⑨で4ヶ所柱に押し付けて固定します。

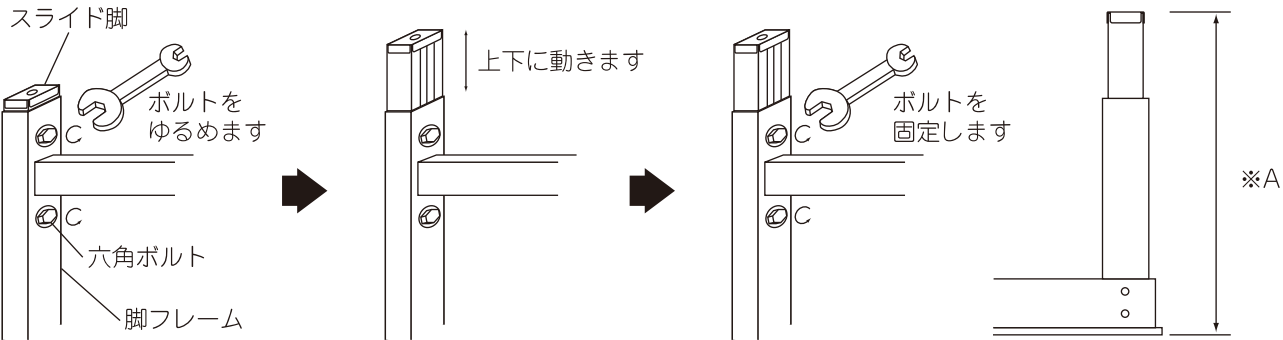
●オプション部品明細

番 号	品 名	数 量
①	キャビネット	1
②	キャビネット吊金具	2
③	止め金具 (D750,900のみ)	2
④	六角ボルト M8×15 ℓ	4
⑤	平ワッシャ M8用	4
⑥	トラス小ネジ (D750,900のみ) M8×12 ℓ	2
⑦	中板	1
⑧	背板	1
⑨	トラス小ネジ M6×15 ℓ	4

《高さ調整タイプについて》(TKK6, TKK8, TKK9, TSEL, TKS, TK8C, DS8)

脚フレームに取付けてありますスライド脚には目盛りが刻印されています。
0 (最小) の所に合わせますとH600 (TKK6タイプ)、H800 (TKK8, TK8C, DS8タイプ)、H900 (TKK9)、H740 (TKS, TSEL) となります。
200 (最大) の所に合わせますとH800 (TKK6タイプ)、H1000 (TKK8, TK8C, DS8タイプ)、H900 (TKK9)、H940 (TKS, TSEL) となります。目盛りが0～200の間で任意の高さに合わせてご使用になれます。

(調整方法)
まず脚フレームとスライド脚を固定している六角ボルトを軽くゆるめます。(ボルトは絶対にはずさないで下さい。故障の原因となります。)
スライド脚が動くようになりますので任意の高さに調整します。終わりましたら手でボルトを締め、仮止めします。全ての脚の調整が終わりましたら、スパナ等でしっかりと固定して下さい。(ゆるく締めますと荷重等でスライド脚が縮む恐れがあり大変危険です。)



※A・Aの寸法表

A	TKK6	600～800
	TKK8, TK8C, DS8	800～1000
	TKK9	900～1100
	TKS, TSEL	740～940